

7月放送総局長定例記者会見要旨

(1) 東京五輪・パラ関連 (正籙放送総局長)

【東京五輪開幕にあたって】

東京オリンピックの開会式まであと2日となり、今日午前中には、大会の初日の競技中継となったソフトボール日本代表の初戦の放送も終わった。今回のオリンピックは、東京に4回目の緊急事態宣言が出される中、多くの会場では無観客となり、まさに新型コロナウイルスとの闘いと並行して行われる大会となる。こうした難しい局面の中でも、これまで積み上げてきた努力の成果を発揮し限界を乗り越えようとするアスリートたちの姿や思いを、放送・サービスを通じて丁寧にお伝えしていきたい。一方で、これまでも繰り返しお伝えしてきた通り、感染状況など新型コロナウイルスの最新情報についてはニュース等の中でしっかりとお伝えしていく。また今月に入ってから、熱海市で土石流災害が起き、その後も各地に「緊急安全確保」が出るなど大雨による災害が起きている。今も九州、沖縄の方で強い雨が降っているという情報もある。この先は台風シーズンとなり、風水害には引き続き警戒が必要で、さらに熱中症にも警戒が必要な時期になる。皆様の安全安心に関わるものを含む重要なニュースがあった場合は、柔軟な編成で対応していく。

【NHKオンラインパブリックビューイング・「世界を応援しよう！」プロジェクト】

オリンピックの多くの会場が無観客となる中、NHKで行う、応援の気持ちを視聴者の皆さんで共有していただく試みを2つご紹介する。1つ目は「オンラインパブリックビューイング」。オンライン会議システムに、競技や選手にゆかりのある人や日本の対戦相手の関係者など、あわせて50人ほどに参加していただき、司会と解説者、そしてゲストとともに、テレビで競技を観戦しながら声援を送ってもらう。その様子の一部を放送の中で紹介して、お茶の間からの声援を全国に届ける。今朝8時15分から放送した今大会最初の競技、ソフトボールの日本対オーストラリアで、1回目を行った。参加したのは、試合が行われた福島県の地元ソフトボールチームの子どもたちや、ホストタウンとしてオーストラリア代表の事前合宿をサポートした群馬県太田市の方などの皆さん。そしてソフトボールの佐藤理恵さんとバドミントン小椋久美子さんの2人のオリンピックも、特別ゲストとして参加した。お2人が、直接、参加者からの質問に答えてオリンピックに出場した時の思い出を語るなど、オンライン上で、これまでにない交流も生まれている。この「オンラインパブリックビューイング」は、オリンピック・パラリンピック期間中に、あわせて10回程度実施することになっている。また一部では、参加していただく親子を公募する。もう1つは、「世界を応援しようプロジェクト」。この「世界を応援しよう！」のプロジェクトは、選手村に置かれたデジタルサイネージでも紹介され、無観客の会場でプレーする選手たちに、開催国日本からの応援の気持ちを届ける。もちろんこれらの動画はNHKの放送やホームページでも紹介する。動画の募集は8月末まで続ける予定なので、多くの方にお送りいただき、日本選手だけでなく外国から来た選手たちにも声援を送っていただければと思う。

(詳細は報道資料を参照)

(2) MLB中継予定について (小池副総局長)

続いて私から、オリンピック・パラリンピック期間中の大リーグ中継についてお伝えする。大谷選手をはじめ、多くの日本人選手が大リーグで活躍しており、試合を見たいという声も多くいただいている。こうした声を受けて、オリンピック・パラリンピックの競技中継が始まる前に行われる試合を中心に、パラリンピック終了までの期間に7試合程度を中継する予定にした。まずは、7月26日の「エンジェルス」対「ツインズ」の試合を、BS1で午前3時5分から中継することになっている。それ以降については、通常、対戦カードなども考えながら3日から4日前に発表しており、その都度お伝えしていく。

(詳細は報道資料を参照)

(3) 総合 開発番組 8・9月の放送予定 (正籙放送総局長)

総合テレビのゴールデン・プライムタイムを、「“新しいNHKらしさ”を追求する番組開発ゾーン」と位置づけ、5月から7月にさまざまな番組を放送してきた。8月から9月には、第三弾として、多彩な15の番組を放送する。8月16日に放送する「ふたりのディスタンス」は、“ふたり”の人物の絆にスポットを当てるドキュメンタリー。コロナ禍で人とのふれあいが制限される今だからこそお届けする新しい番組だ。登場するのは、「伝説の家政婦」として注目のタサン志麻さんと夫のタサン ロマンさんのお2人。米津玄師さんがコロナ禍に作った曲「カナリヤ」を、ご本人の了解を得て、番組の主題歌として使用する。タイトルの題字は、スタジオジブリの鈴木敏夫プロデューサーによるものだ。8月にはさらに、会社の倉庫に眠るお宝を探し出し、知られざる先人たちの知恵と汗と涙の物語に迫る「職場遺産～倉庫にねむる宝さがし～」や、ムロツヨシさんが視聴者の皆さんから寄せられたつぶやきに生放送で寄り添う「今夜のひとりごと」など、幅広いラインナップでお届けする。9月には、暮らしの中にある悩みや課題を取り上げ、あの手この手の“社会実験”で解決のタネを探る「1ミリ革命」を放送する。また、5月に放送した「いとしの地球アワー」「へい！モンジュ！～迷えるわたしに教養を～」 「みんなパスカル！」の第二弾も放送する。「みんなパスカル！」は「発想転換！世界を変えるシン・キング」とタイトルを改め、内容も刷新しての第二弾となる。

(詳細は報道資料を参照)

(4) みんなでつくろうSDGsかるた (若泉副総局長)

WEBサイトによる学習支援コンテンツ「NHK for School」では、開かれた学びの場として、親子でSDGsを楽しく学んでいただけるよう、さまざまなコンテンツを展開している。7月からは、「NHK for SchoolでSDGsを学ぼう！」をキャッチコピーに、「みんなでつくろうSDGsかるた」の募集をスタートした。これは、「NHK for School」で公開している動画教材からSDGsについて学び、それぞれの目標や決意を「5・7・5」の川柳と絵に込めてオリジナルかるたを作っていただく企画。「ひろがれ！いろとりどり」ホームページでは「17目標別動画クリップ」を公開しており、「NHK for School」の動画を目標ごとに見ることができるので、関心のある目標について理解を深めることができる。作品の応募方法は、「ひろがれ！いろとりどり」ホームページでご紹介している。一般からのご応募のほか、全国の小学校にもご案内し授業の一環や家庭学習で活用いただけることを目指している。寄せられた「SDGsかるた」は、Eテレの子ども向けSDGs番組「あおきいろ」で、8月11日から3日間紹介し、10月以降は「ひろがれ！いろとりどり」の番組やホームページで紹介していく予定。また、この「SDGsかるた」を全国の子ども新聞の読者記者の皆さんと一緒に作るワークショップイベントをオンラインで開催する。「NHK for School」アンバサダーの出川哲朗さん、山之内すずさんも参加して一緒にかるたを作り、「ひろがれ！いろとりどり」SDGs監修の蟹江憲史先生指導のもと、SDGsについて楽しく学ぶ。イベントの様子はNHKの放送などで紹介するほか、メディアの皆様にもご参加いただけるので、ぜひ取材をお願いしたい。

(詳細は報道資料を参照)

(5) 大河ドラマ・連続テレビ小説の放送日程 (若泉副総局長)

現在放送中の大河ドラマ「青天を衝け」と連続テレビ小説「おかえりモネ」の最終回、および次期連続テレビ小説「カムカムエヴリバディ」の放送開始日がそれぞれ決まった。大河ドラマ「青天を衝け」の最終回、第41回は、12月26日日曜日、午後8時から。そして、次期大河ドラマ「鎌倉殿の13人」は、2022年1月に放送を開始する予定。詳細は、決まりしだいお知らせする。続いて連続テレビ小説。現在放送中の「おかえりモネ」のドラマ上の最終回は、10月29日金曜日。翌日の土曜日10月30日に、最終週の振り返りを放送する。その結果、全24週となる。さらに、大阪拠点放送局制作の「カムカムエヴリバディ」は、翌週の11月1日月曜日、午前8時から放送をスタートする。全体の放送回数については、現段階では未定。

(詳細は報道資料を参照)